

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。



《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

「お互いの顔が見える連携」を!

沖縄協同病院地域連携懇親会開催

去る6月12日ロワジールホテル那覇にて、地域との「顔の見える連携」を目的に「2014年沖縄協同病院地域連携懇親会」が開催されました。地域の医療機関等から250名、沖協職員95名の計345名の方々が交流を深めました。

オープニングは弦楽7重奏で始まり、上原昌義理事長、来賓の先生方、仲程院長の挨拶へと続き、名嘉勝男南部地区医師会長の乾杯の音頭で懇親会の幕開けとなりました。懇親会では、バイオリン&ピアノ演奏で会場がよりなごやかな雰囲気につつまれ交流を深めることができました。

スクリーンでは、各診療科紹介が行われ、エイサー同好会によるエイサーが華を添え、伊泊副院长の閉会の挨拶で幕を閉じました。

参加された方々から「たくさんの医療関係者と話ができ良かった。」との声をいただき、お互いが身近になれる良い機会を提供できたと感じられました。今後も患者様に良い医療を提供するために、地域の医療機関とスムーズな連携を進めていけるよう職員一同、頑張っていきたいと思います。

地域連携課長 運天奈津代



かりゆし会総会（6月21日）・ゲットコントロール/努力賞表彰式を「カラオケハウスとまと」にて行いました。

昼食を兼ねて、野菜炒めを中心にサラダや豆腐など、バランスを考えた料理を食べ、カラオケも歌いあつという間の時間でした。

表彰式では、ゲットコントロール賞18名 努力賞2名が発表されました。会員28名中20名の方が達成されました。毎日の努力が改善に結びついていくと考えます。おめでとうございます。努力賞のKさんは、職員からの「こうしてみたら」「あんなしてみたら」という指導よりも、「体験者である患者の言葉から変わることができます。体験談を聞き変わっていくチャンスにしてほしい。」と患者会の大切さを話されていました。

年内に、体験交流会の開催ができるように企画したいと思います。お楽しみに!!

かりゆし会事務局 金城清美

熱中症にご注意を！

95
ひがいせ

救急センター

梅雨も明け、沖縄は夏本番を迎えることがあります。今回は連日の暑さが続くこれから季節で特に注意が必要な熱中症についてご紹介します。

熱中症は高温環境下で体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻したりすることで発症する障害の総称です。血管が拡張することでめまいや失神がおこる「熱失神」、大量発汗により血液の塩分が不足するため筋肉痛や手足の痙攣がおこる「熱けいれん」、脱水により吐き気や頭痛がおこる「熱疲労」、そして体温が過度に上昇するために意識障害がおこる「熱射病」の4つに分類されます。

これらの熱中症は、真夏日以外まだ体が蒸し暑さに慣れていない梅雨の時期にも多くみられます。汗がうまく蒸発できない多湿環境下でも起こりうるため、暑りの日の屋内でも危険性は大きいことに注意しなければいけません。また年齢別にみると、汗腺が未発達な乳幼児や体内の水分量の低下している高齢者が要注意ですが、肥満の方や寝不足、二日酔いの方、糖尿病や高血圧、腎不全、心疾患、精神疾患のある方も体温調整がうまくいかず熱中症を発症しやすい傾向にあります。

具体的な予防策としては決して水だけを多く摂取してはいけません。水のみを大量に飲むと血液のナトリウム濃度が薄まり、のどの渇きを感じなくなるばかりか、体液濃度を元に戻すために余分な水分を尿として排泄します。効果的な水分補給としては糖を含んだ食塩水（水1ℓに食塩2gと砂糖少量）を摂取すると、食塩水のみと比べて腸からの水分吸収がスムーズといわれています。しながら予防を講じても熱中症を発症してしまう。多くの場合は、速やかな処置・治療が必要です。多くは水分補給や冷却（体に水をかけたり首や脇を冷やす）で改善しますが、意識がおかしい、自分で水分補給ができないなどの症状があれば速やかに医療機関を受診する必要があります。

適切な予防・処置を心がけましょう。

カナダ釣行 (サーモンを探して)

去る6月6日～13日まで、医療生協の釣りサークル『あかまち会』の5名でカナダヘキングサーモンを釣りに行きました。前半の3日はロッキー山脈近くのバンフの街に滞在し、ケーブルカーで近くの山を観光したり、コロンビア氷原にて氷河を歩いたりしました。後半の2日はバンクーバーでサーモン釣りをしました。釣り方は、トローリングで流し釣りのように船をゆっくり動かしながら仕掛けをセットして、ひたすら当たりを待つスタイルです。竿もリールもフライ用のものを使用し、別のおもりをつけ沈ませる装置でラインをフック止めして沈めます。釣り方としては餌もしくはスプーンのルアーで釣ります。釣果としては5人で4匹でした。残念ながら今回自分は釣ることができませんでしたが、楽しい釣行となりました。

芸政屋仁安 課務総務

『釣ったぞ!』と
新垣さん



病院の活動状況 <5月度>

- 外来一日平均患者数:661人(前年同月比-61人)
 - 入院一日平均患者数:271人(前年同月比+1人)
 - 組合員利用率:54.0%(前年比-0.9%)

祖先が血と汗をもて
守り育てた沖縄の歌をかみしめて、体を張つて守りたい。
それは子孫に対する責任と義務である。



沖縄ではどこにでもあるので自生種だと思っていたが、原産地はオーストラリアで100年前に台湾を経由して入ってきたという。乾燥に強いヒトツマメ科と同じように根に栄養を固定できるので、海岸砂防や造林目的で導入された。しかし、暴風には弱く、台風後には枝が折れてしまったり、根っこが倒れていいのをよく見かける。

さて、復帰以降、沖縄振興の下、護岸工事や埋め立て等が急ピッチで進められ、モクモー林はリゾートホテルに姿を変えた。今後も辺野古と引換の交付金で沖縄の風景はどんどん変わっていくだけ。それでも辺野古だけは♪我らの

モクモー（方言名）林には他の植物が生えない。その理由は、モクモーの落葉？は分解されにくく、それが表面を覆いつぶすため、他の植物が生えにくくなること。更に、化学物質を出して他の植物が生えるのを抑えるのでモクモーだけの林を形成するといつ。

モクマオウは漢字では木麻黃で、「麻黃に似た木」が語源のようだ。葉のよう見えるのは茎で、葉は耐乾のため退化している。豪州等では花粉症の起因植物として知られてるので、花粉症がないと言われている沖縄でも注意が必要である。

である

おきなわの
自然

リゾートビーチでは見かけないが、古くからある名城ビーチ、瀬底ビーチ等(最近行ったことはないが...)にはモクマオウ林があり、その木陰でバーベキューを楽しんだもの

モクマオウ

A colorful rainbow with white clouds at each end. To the left of the rainbow is a blue oval containing the text "虹の箱より". To the right of the rainbow is a large amount of Japanese text.

投書 採血室の横に展示されている絵がいつも楽しみです。季節ごとに内容も変わるので来院する度にみるのが楽しみです。

「かず」さんというお名前の先生の作品でしょうか？
これからも新作を楽しみにします。

ご意見ありがとうございます。

採血室横の絵は内科外来の上原医師が描いてあります。季節やその時々のニュースに応じて内容が変わります。当院広報紙「はいさい」や医療生協だよりも掲載されていますので、ご覧ください。

1階外來師長 玉城

季節の 繪

夏の昼さがり 冷たいものはいかが?

画・内科医
上原和博



2014.5. 未